

情 報 公 開 文 書

研究の名称	クローン病に対する腸管切除術の手術成績、予後に関する検討
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	外科学(消化器・腫瘍・総合外科) 教授 藤井 努
研究の概要	【研究対象者】 当院で CD に対して腸管切除術を受けた全患者を対象とします。 【除外基準】 研究参加辞退の申し出があった患者、活動性悪性腫瘍を合併している患者、複数回腹部手術歴のある患者、重度の心血管・脳血管疾患を有する患者、妊娠中の患者は研究対象者から除外いたします。 【研究の目的・意義】 クローン病（以下 CD）の患者数は 7 万人を超えています。CD に対する内科的治療の進歩は著しいですが、依然として CD は狭窄、瘻孔や膿瘍を合併し、手術が必要となる症例が多いです。CD は術後合併症も多く、より低侵襲で、かつ術後合併症の低減が求められます。今回当科で施行した CD の手術成績、予後に関して、後ろ向きに検討します。 【研究の方法】 2008 年 1 月 1 日～2029 年 12 月 31 日に当科で施行された CD に対する腸管切除術症例について、以下の項目を収集し後ろ向きに解析を行います。 患者背景（年齢、性別、初発年齢、既往歴、術前治療の有無など） 手術背景（術式、手術時間、アプローチ法、輸血有無、手術適応、肛門病変の有無、初回 or 再手術） 術後経過（術後合併症、在院日数、再手術率、再発時期、生存率など） 【研究期間】 実施許可日 ～ 2030 年 12 月 31 日 【利益相反の状況】 なし 【研究結果の公表の方法】 学会や論文にて公表を行います
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	電子カルテからの患者背景（年齢、性別、既往歴、初発年齢、術前治療の有無など）、手術背景（初回手術年齢、病型、肛門病変の有無、手術適応、術式、手術アプローチ方法、手術時間、輸血の有無、初回 or 再手術）、術後経過（術後合併症、再手術率、再発時期、生存率等）といった情報を用います。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院長 山本 善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等

	の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	外科学(消化器・腫瘍・総合外科) 教授 藤井 努
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7331 FAX 076-434-5043 E-mail tmhrmngw@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 IBD センター 助教 皆川 知洋